

平成28年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会（地理的分野）（1/2枚目）

社会(地理、地図)部会 部長(川口 浩)

調査の観点	発行者名 東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
<p>1 内容 (1) 発達段階に即している (2) 興味・関心を引き出す配慮 (3) 本市の学力の実態へ配慮</p>	<p>(1)・小学校での地理学習を1ページにまとめて導入時の復習に適している。 ・「地理スキルアップ」では、グラフの読み方が單元ごとにあり詳しく解説されている。 (2)・見開き2ページの導入資料(図版)が効果的に配置されている。 ・「世界の地域調査」では韓国を取り上げており、調べ方が丁寧に解説されている。 ・五つの州、大陸の学習の中で、各国の特色や国旗等について触れており、やや高度な編集をしている。 ・気候については複数の資料から多面的に読み取ることができるよう工夫がされている。 (3)・最後に用語説明がある。 ・全ての単元に「確認」があり、その時間に学習した内容を確認したり深化することができる。 ・まとめは文章で発表できるようになっている。</p>	<p>(1)・教科書の使い方、凡例等の解説に5ページをあてられているが、復習として使う事ができる内容である。 (2)・「世界の地域調査」では、事例地としてインドを取り上げている。 ・「学習のまとめと表現」では穴埋め式で書き込みやすい工夫がされている。 ・見開き2ページの導入資料(図版)が効果的に配置されている。 ・キャラクターが見開き1時間ごとに「疑問」を発言し、興味・関心を高める工夫が見られる。 ・世界の国々の人々の生活の特色をつかむために、人口や産業、土地の様子などについて、資料を基に平易な表現で説明されている。 ・気候については写真と文章を重視しており、グラフが小さく色遣いなどがやや見にくい。 (3)・初めに地図や資料の読み取り、書き方の説明がある。 ・最後に用語説明がある。 ・「ふりかえる」では、各時間に学習した内容を確認したり深化したりすることができる工夫がされている。</p>	<p>(1)・資料を重視し、地図帳を読みこなす事を前提に作られている。 ・「技能をみがく」で、書き込みながら学習することができるようにページを前半に多くとり、使いやすい工夫がされている。 ・「技能をみがく」では、單元ごとにグラフの読み方が詳しく解説されている。 ・調査方法やまとめ方法を詳しく記述している。 ・「学習をふりかえろう」は、記述式で各單元(見開き)の学習を振り返らせるようになっている。 (2)・見開き2ページの導入資料(図版)が効果的に配置されている。 ・見開き1時間ごとに、キャラクターが「疑問」を発言し、興味・関心を高める工夫がされている。 ・気候についてはグラフ、写真を多用している。 (3)・用語解説は、「解説」として本文余白に記述している。 ・「確認しよう」「説明しよう」で学習した内容を確認したり深化したりすることができる工夫がされている。</p>	<p>(1)・「学習の活用」の書き込みがしやすく構成している。 ・「スキルUP」では、グラフや写真、地図の読み取り方の説明がある。 ・「世界の地域調査」では、事例地としてロシアを取り上げており、調べ方を順をおって解説している。 (2)・見開き2ページの導入資料(図版)が効果的に配置されている。 ・見開き1時間ごとに、キャラクターが「疑問」を発言し、興味・関心を高める工夫が見られる。 ・気候については写真とコラム(現地に住む人の言葉、コメント)で理解させようと工夫がされている。そのためややグラフが小さい。 (3)・各単元に「本時のキーワード」が明示してある。 ・「学習の確認と活用」で学習した内容を確認したり深化したりすることができる工夫がされている。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列、発展的記述 (2) 発達段階に配慮した分量 (3) 基本事項の押さえと補充教材 (4) 発展教材への配慮</p>	<p>(1)・世界は、生活と環境から入り、世界の諸地域、地誌を学習する。日本は、日本の姿から日本の諸地域を学習し、最後に身近な地域を学習する配列となっている。 (2)・適切な分量である。 ・総ページ数295(内、さくいん・統計・資料等14ページ) 領土問題 3頁 (領土問題をトピックとしても取り扱っている) 災害関係 4頁 6項目の発展記述がある。 (3)・基本事項の確認として「地理にアクセス」がある。 ・補充教材として「地理にスキルアップ」「学習をふりかえろう」(穴埋め式)がある。 ・アジア州についての記載が充実している。 (4)・「トライ」「深めよう」で対応している。</p>	<p>(1)・導入部分で「地図やグラフを読み取ろう」にて地図のきまり等の確認が掲載されている。 ・世界は、生活と環境から入り、世界の諸地域、地誌を学習する配列となっている。 ・日本は、日本の姿から、日本の諸地域を学習し最後に身近な地域を学習する配列となっている。 (2)・適切な分量である。 ・総ページ数279(内、さくいん・統計・資料等14ページ) 領土問題 2頁(年表で北方領土について記載している) 災害関係 4頁 3項目の発展記述がある。 (3)・基本事項の確認として「見てみよう」がある。 ・補充教材として「地理の窓」「学習のまとめと表現」(穴埋め式、記述式)がある。 ・アジア州、アフリカ州についての記載が充実している。 (4)・「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」で対応している。</p>	<p>(1)・世界は、生活と環境から入り、世界の諸地域、地誌の順に、日本は、日本の姿から、日本の諸地域を学習し、最後に身近な地域を学習する配列となっている。 (2)・適切な分量である。 ・総ページ数279(内、さくいん・統計・資料等4ページ) 領土問題 2頁(地図で北方領土について変遷を示している) 災害関係 6頁 7項目の発展記述がある。 (3)・基本事項の確認として「確認しよう」がある。 ・補充教材として「学習をふりかえろう」(穴埋め式、記述式)がある。 ・ヨーロッパ州についての記載が充実している。 (4)・「共生」「環境」「防災」の3つのテーマで対応している。</p>	<p>(1)・生活と環境から入り、世界の諸地域、地誌を学習する。日本の姿から日本の諸地域を学習し、最後に身近な地域を学習する構成になっている。 (2)適切な分量である。 ・総ページ数281(内、さくいん・統計・資料等11ページ) 領土問題 2頁(地図で北方領土について変遷を示している) 災害関係 10頁 11項目の発展記述がある。 (3)・基本事項:「学習のまとめ」や「キーワード」で対応している。補充教材:「地理+α」「学習の活用」で対応している。(穴埋め式、記述式、作業)「アジアの成長」について、現実に即した内容になっている。「EUとヨーロッパ」の構成がよい。 ・世界の諸世界の記載の割合は平均的である。 (4)・「地域からのメッセージ」「自由研究」で対応している。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 生徒にとって読みやすい表現 (2) 印刷、写真等の見やすさ</p>	<p>(1)(2)この項目については、適切に対応している。 ・本文に対して、地図、グラフ、資料、コラム等の参考資料の割合が多い。</p>	<p>(1)(2)この項目については、適切に対応している。 ・本文に対して、地図、グラフ、資料、コラム等の参考資料の割合が多い。</p>	<p>(1)(2)この項目については、適切に対応している。 ・本文に対して、地図、グラフ、資料、コラム等の参考資料の割合が多い。</p>	<p>(1)(2)この項目については、適切に対応している。 ・本文に対して、地図、グラフ、資料、コラム等の参考資料の割合が多い。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見渡せるよう配慮 (2) 課題発見、解決に向けた学習が効果的に進められる配慮 (3) 印刷、装丁への配慮 (4) 地域性への配慮</p>	<p>(1)世界の諸地域の学習では、各州の学習の最初に象徴的な写真を大きく掲載し、地図、面積・人口・GDP、降水量と人口密度の主題図、雨温図を統一して示している。日本の諸地域の学習では、各地域の象徴的な写真を大きく掲載し、面積・人口・各産業について、雨温図を地図に位置付けて示している。 (2)「地理スキルアップ」や「調査の達人」で、資料活用に関する基礎的・基本的な技能について解説している。 (3)問題はなく、質が高い。 (4)「世界の様々な地域の調査」では韓国を、「身近な地域の調査」では静岡県静岡市を調査を進める事例地として取り上げている。</p>	<p>(1)世界の諸地域の学習では、各州の学習の最初に地図、降水量の主題図、雨温図を統一して示している。日本の諸地域の学習では、地図、雨温図を統一して示している。 (2)「地理にアプローチ」で地図やグラフの見方を確かめることができる。 (3)問題はなく、質が高い。 (4)「世界の様々な地域の調査」ではインドを、「身近な地域の調査」では愛知県名古屋市を調査を進める事例地として取り上げている。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックについて触れている。</p>	<p>(1)すべてのページにインデックスがあり、教科書を開きやすい。世界の諸地域の学習では、各州の学習の最初に象徴的な写真を大きく掲載し、地図を統一して示している。日本の諸地域の学習では、各地方の象徴的な写真を大きく掲載し、雨温図を地図に位置付けて示している。 (2)「羅針盤マーク」や「技能をみがく」が課題発見・解決的な学習の役に立つ。 (3)問題はなく、質が高い。 (4)「世界の様々な地域の調査」は主に韓国を、「身近な地域の調査」では東京都練馬区を調査を進める事例地として取り上げている。また、P138、139で八王子(高尾)の地形図が使われている。</p>	<p>(1)すべてのページにインデックスがあり、教科書を開きやすい。世界の諸地域の学習では、各州の学習の最初に雨温図を地図に位置付けて示している。日本の諸地域の学習でも、雨温図を地図に位置付けて示している。 (2)「スキルアップ」が、課題解決的な学習を進めていくための指針・例になる。 (3)問題はなく、質が高い。 (4)「世界の様々な地域の調査」ではロシア連邦を、「身近な地域の調査」では愛知県小牧市を調査を進める事例地として取り上げている。</p>

平成28年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会（地理的分野）（2/2枚目）

社会(地理、地図)部会 部長(川口 浩)

調査の観点	発行者名 東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
<p>5 重点調査項目 (1)他分野(歴史・公民)・他教科との関連性が示されているか。(異文化との交流など)</p>	<p>・分野関連マークはあるが、大きな差はない。 ・p39、p41「宗教」(歴史公民)、p56「岩のドーム」(歴史公民)、p63「ユーロ」(歴史公民)、p66「EU」(歴史)、p79「マンデラ大統領」(歴史)、p129「日本島図」(歴史)、p132「領土」(歴史)、p158「日本の人口」(歴史公民)、p162「日本のエネルギー」(歴史)、p167「日本の自動車生産」(歴史)、p168「商業動態」(公民)、p174「電話契約数」(公民)、p185「沖縄の土地利用」(歴史公民)、p216「富士山」(歴史公民)、p229「地下調節池」(歴史公民)、p232「官庁街」(公民)、p233「オリンピック」(歴史公民)、p235「キャベツ」(公民)、p247「南部鉄器」(歴史公民)、p249「大震災」(公民)、p255「アイヌ」(歴史公民)、p257「にしん漁」(公民)、p261「アイヌ舞踊」(歴史公民)など、他分野との関連性が示されている。</p>	<p>・分野の関連マークはないが、大きな差はない。 ・p14「国連」(公民)、p16「国名のなりたち」(歴史)、p27「焼畑」(公民)、p30「オリンピック」(歴史公民)、p38「仏教」(歴史公民)、p39「モスク」(歴史)、p46「経済特区」(公民)、p49「38度線」(歴史)、p51「宗教」(歴史公民)、p60「アフリカ国境」(歴史)、p61「難民」(公民)、p71「ユーロ」(歴史公民)、p76「環境」(公民)、p89「コンビニ」(公民)、p98「南米環境」(公民)、p126「世界古地図」(歴史)、p128「領土」(歴史)、p134「五畿七道」(歴史)、p146「大震災」(公民)、p153「日本の人口推移」(歴史公民)、p155「エネルギー」(公民)、p157「商業」(公民)、p159「交通」(歴史公民)、p170「北九州」(歴史公民)、p190「京都」(歴史)、p214「都心」(公民)、p248「アイヌ」(歴史公民)など、他分野との関連が考えられる。日本地理の単元での関連がやや少ない。</p>	<p>・分野の関連マークはないが、大きな差はない。 ・p30「宗教」(歴史公民)、p34「万里の長城」(歴史)、p35「仏教」(歴史)、p42「プランテーション」(歴史)、p56「EU」(歴史公民)、p86「地球温暖化」(公民)、p89「インカ帝国」(歴史)、p97「森林伐採」(公民)、p126「領土」(歴史)、p128「廃藩置県」(歴史)、p130「五畿七道」(歴史)、p144「大震災」(公民)、p154「エネルギー」(公民)、p163「商業動態」(公民)、p173「屋久島の環境」(公民)、p179「沖縄」(歴史)、p180「北九州環境保全」(公民)、p187「広島」(歴史)、p191「なすの価格」(公民)、p193「観光客」(公民)、p204「京都」(歴史)、p225「東照宮」(歴史)、p228「霞ヶ関」(公民)、p244「アメノマケズ」(国語)、p259「アイヌ」(歴史公民)など、他分野・他教科との関連が考えられる。地理が中心であるが、バランスよく他分野・他教科との関連が図られている。</p>	<p>・分野の関連を示す「連携コーナー」がある。 ・p50「EU」(公民)、p52「ユーロ危機」(公民)、p60「エジプト文明」(歴史)、p64「世界の紛争」(公民)、p76「国際連合」(歴史公民)、p118「日本の領土」(歴史公民)、p172「九州」(歴史)、p178「琉球」(歴史)、p186「大阪西回り航路」(歴史)、p196「近畿」(歴史)、p198「京の都」(歴史)、p200「江戸時代の大阪」(歴史)、p222「江戸」(歴史)、p230「江戸のききん」(歴史)、p238「東北の交易」(歴史)、p246「アイヌ」(歴史)など、他分野との関連が見られる。小学校の社会科や歴史・公民との関連が図られている。</p>
<p>(2)自らがテーマを設定し、探究する学習への配慮がなされているか。[学習を深める]</p>	<p>・単元の終わりに「深めよう」のコーナーを設け、学習内容を深化するための話題が用意されている。また、「地理にアクセス」では学習内容から、さらに興味・関心を高める話題が提供されている。探究的な学習については、「地理スキルアップ」や「調査の達人」のコーナーが活用でき、内容も分かりやすくまとめられている。 ・日本で起きる自然災害の種類を学習する単元で、自分の住む地域で起こる可能性がある災害を挙げ、防災対策では防ぎきれないこと、減災の取組や一人一人の適切な行動の必要性を考えさせている。</p>	<p>・特設ページとして、世界の諸地域の部分で「地域から世界を考えよう」と、日本の諸地域の部分で「現代日本の課題を考えよう」が、計13テーマにわたって設けられている。学習を深める内容としては使いやすい。また、「地理にアプローチ」は、地理的な技能の習得に役立ち、探究的な学習に活用できる。 ・現代日本の課題を乗り越えてでは、東日本大震災を例に、復旧とともに、地域のお祭り、文化財の修復にまで触れており、地域の人々の復興の取組にまで触れている。</p>	<p>・「トライアル地理」というコーナー(2テーマ)で、地理の知識や技能を使って、課題を自分なりに探究していく学習への配慮がなされている。また、「技能をみがく」のコラムも、地理的な技能を用いた探究的な学習に活用でき、内容も充実している。「学習をふりかえろう」のページの最後には「探究しよう」のコーナーが設けられている。 ・「地域を探ろう」では、中学生が作った震災地域の模型などを取り上げ、さらに深い取り上げ方の例を示している。</p>	<p>・世界の諸地域における「自由研究」のコーナーは、テーマを設定し探究する学習の例として活用できる。また、「スキルup」は、地理的な技能を用いた探究的な学習に活用できる。 ・過去の伝承に学ぶなど、災害を後世に伝える先人の努力の跡を、石碑等から紹介し、町役場の一部を保存する取組を紹介している。</p>
<p>(3)能動的学習(アクティブラーニング等)に取り組むための課題設定がなされているか。(拡げる)</p>	<p>・「世界のさまざまな地域の調査」「身近な地域の調査」では、具体的な調査の方法を詳しく説明している。 ・本文余白に示される「えんぴつマーク」の記述内容が、能動的に学習に取り組むための課題として活用できる。また、「深めよう」のコーナーの終末の「トライ」も活用できる。</p>	<p>・「世界のさまざまな地域の調査」「身近な地域の調査」では、調査の仕方を詳しく解説している。 ・「ふりかえる」の「ステップ2」の指示内容が、能動的に学習に取り組むための課題として活用できる。</p>	<p>・「世界のさまざまな地域の調査」では、レポートや展示発表の仕方を取り上げている。 ・「やってみよう」の記述内容が、能動的に学習に取り組むための課題として活用できる。</p>	<p>・「世界のさまざまな地域の調査」「身近な地域の調査」では、具体的な調査の方法を詳しく説明している。 ・「言語活動コーナー」の内容によっては、能動的な学習に取り組むための課題として活用できる。</p>